



ワークショップ

「この町を子どもたちにどう繋いで、どう残すのが」を終えて

小浜西組町並み協議会 地域活性化部会長 佐野 達也

西組悲願の街路整備がいよいよ平成25年度から始まります。そこで地域活性化部会は今後の新たな活動に活かしていくため、子育て世代の若い方を中心に40名集まっていたいただき、ワークショップを開催しました。

ワークショップの前に、まず人口の推移を説明しました。小浜市の人口が20年間で10%減に対して西組は30%減という現実です。西組を出て、郊外へ移り住んだ方が多い事がわかりました。

この説明を受け、「どう感じたか」「なぜこのような状況になっているのか」「どんな町なら人が残るか」「自分にできることは何か」という問題に対し5つの班に分れて考えていくことにしました。

約1時間の討論の末、各班の発表に移りました。意見の中には、“子ども達に住んで欲しくても就職や同居などの面で物理的に難しい”という問題点があげられました。町家の欠点を補うこれからの課題としては、“住まい方（間取り等）の提案を建築部会で進めて宣伝していく事が必要である。”“そのためにも補助を出すべきだ。”“町の活性化の一役にご当地スイーツを考えて小浜西組を売り出すのはどうか”等の意見がでました。

中には“近所と関わりを持てるのが西組のいいところ”とあげている意見もありました。個人主義を好む傾向にある時代ですが、それに相反することを望む声があがったのは、やはり震災の影響もあったからでしょうか。しかし、結びつく力こそ、町づくりの大きな力となります。ありがたい意見が出て嬉しく感じました。

限られた時間内ではありましたが、この町を残すためにどうすればよいのかを共に考える事が出来たのは、これからの町を担っていく若者に少しでも町に対する意識を持ってもらうきっかけになったと思います。



桂田さんによる、人口推移の説明



ワークショップの様子



各班長による発表

ワークショップ終了後、その場で懇親会も開きました。ワークショップでは話しづらかった事も、お酒が入って和やかになり、話が盛り上がり、良い時間を持つ事が出来ました。

西組の現状を再認識し、将来の西組の町が今以上に「誇れる町」となるように、今出来る事を皆で考え、「まちづくり」をしていかなければなりません。住民の皆さんが積極的に「まちづくり」に参加して下さる事が、この町を守って行く第一歩、大きな力になるはずです。これからもこの様な会を定期的に設け、地域の繋がりを強くしていきたいです。

小浜西組町並み協議会 第5回役員会報告

日時：平成24年2月24日（金） 19：30～21：00
場所：鹿島 福祉センター

1 報告事項

若狭青年会議所より挨拶があり、「わかさロマンカフェ」と銘打ち、旧新美邸にて一年間活動をさせていただきたいとのこと。

具体的には、3/25（日）、12:00～17:00に近隣散歩し、絵手紙、絵はがきを作成などのイベント。4/18（水）、18:30から21:50には、まちづくり専門講師による講演会。6/2（土）、3（日）の両日は、協議会と共同でイベント。11/21（水）、19:30～21:50には反省会。賑やかになりますが、よろしくお願ひしますとのこと。

市より報告

平成24年度の補助工事の説明があり、今年より修景工事が入ってきました。工事箇所も多く、ご近所にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご協力お願いします。

なお、平成25年度の補助工事希望は今のところ申込みはゼロで、募集中です。

町並み保存資料館の平成24年度運営予算は今年度の据置となりました。また、平成27年度まで、持ち主様との賃貸借契約を延長しました。

旭座の件について、模型等の作製を平成24年度予算に盛り込みました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

西組を訪れる視察の対応をお願いします。3/24（土）は13:00から今庄の方、3/25（日）は10:00から全国町並み保存連盟の方です。

鹿島に伝建物の解体を希望される方があり、現在対応中です。協議会にも協力をお願いします。

2 協議事項

1、「町並みワークショップ」を開催いたします。

日時は3月9日（金） 19：00より。テーマは「この町を子供たちにどう繋いで、

どう残すのか」です。場所は鹿島の福祉センター、対象は西組住民とその他ご興味のある方全般です。

手法としては、西組の現状把握を行い、我々が住むこの西組を、これからどうしていくのか、という話をざっくばらんにしていきたいと思います。特に、これからの西組を背負って立つ若い人に是非聞いていただきたい話ですので、役員の皆様の区内でのお声がけをお願いいたします。

2、役員改選の時期になりました。

区長推薦の依頼書をお配りしましたので、新区長さんにご協議の上、提出願います。3月末を締切としておりますので、締め切った上で次年度の体制づくりをしていきたいと思ひます。

3、来年度の事業計画について

6月には、青年会議所と協力して、2日、3日と土日でイベントを行いたく思ひます。協議会としては、とにかく資金集めと親睦を兼ねてバザー等をやったらどうかと考えております。詳しいことが決まりましたら、ご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

4、総会について

5月末くらいをメドに定時総会を行いたく思ひます。また日程調整をさせていただきますので、よろしくお祈りいたします。

5、資料館の管理人について、三宅さんに長い間お世話になってきましたが、この度、4月より青井の四方さんに交代していただくことになりました。

6、小浜第二保育園が平成24年度末で第一保育園と統合となりますので、空いた場所の借用を市に申し入れをしております。消防団の車庫も併設しておりますし、西組の真ん中に位置しておりますので、防災用品の倉庫として、整備が完了するまでの暫定的防災拠点として、活用したく要望した次第です。これにつきましては、市の方で検討に入っております。

小浜西組町並み協議会からのお知らせ

企画運営部より

町並み保存資料館にて雛人形展を平成24年2月22日～3月6日(月)まで開催いたしました。今回は小浜商工会議所女性会と女性会と合同で行なったことにより、とても豪華で幅広い年代の雛人形を飾ることができました。御来館くださいました大勢の方に楽しんでいただきました。



平成24年4月1日から町並み保存資料館の管理人が交代となります。住吉区の三宅清様から青井区の四方澄雄様をお願いすることになりました。三宅様には長い間お世話になりました。

平成24年3月31日をもって飛鳥区の町並み散策案内所を事情により閉鎖いたします。2年間地域の皆様にはお世話になりました。

町並み保存資料館の開館時間が平成24年4月1日から午前9時～午後5時となります。



小浜西組と私

松原 拓也



皆さんはじめまして。

この度、西組協議会にご紹介いただき、飛鳥区の空き家を購入しました松原と申します。修理後に引っ越すことになるため、実際に住みだすのは今年の終わり頃か来年になりそうです。まだまだご挨拶にもまわられていない中、誠に失礼ながら会報を通してでも自己紹介できればと思い、寄稿させていただきました。

小浜市、そして西組へ家を持つということは、私の長い間の憧れでした。ただ、小浜市に来た当初から憧れだったというわけではありません。

私が大学卒業後、小浜市役所に就職が決まり、県外から縁もゆかりもなかった小浜市に来てから、はや9年が経とうとしています。当時、誰一人知り合いがいなかった私にとって嬉しかったのは、小浜の人の親しみやすさでした。

最初の5年間の職場が文化会館という、多くの人と一緒に事業をする場所だったというのも、恵まれていたのですが、共に汗をかき、笑ったり、叱られたり、様々な場面で触れ合う、小浜の人の親しみやすさが、徐々に私の心にこのまちに根をはって住みたいという思いを育むようになりました。

風景や歴史文化から小浜を愛するようになったという方もいるでしょうが、私は小浜人の人柄に惚れて、小浜というまちを愛するようになったといえます。

数年前に文化財ふれあいフォーラムで聞いた、ある西組協議会の方の言葉はそんな私の思いをさらに強くするものでした。

「文化財はただ守るだけのものではなく、コミュニケーションツールなんです」

映画のセットの様な外見だけのまちではなく、血の通った人間同士が触れ合うまちを目指す。そんな西組に暮らす人の思いは、小浜に住む様々な人とつながりを持ちながら、家族とともに暮らしたいという私の憧れと重なり合うものでした。

最近、西組に住めることと同じくらい、嬉しい出来事がありました。

新聞のインタビュー取材を受けましたら、その記事に載っていた私のプロフィールを読んだ知り合い何人かから、「松原さんは小浜市出身だと思っていた」と言われたのです。

小浜に来た当初は、「やっぱり（外から来た人は）雰囲気違うね」とよく言われたのですが、この土地に住み、そこに住む人たちと一緒にまちづくりに取り組んできたことで、だいぶ「小浜顔」になってきたようです。夫婦は長年連れ添うと顔が似てくるといいますが、土地と人も似たようなものなのかもしれません。

数年後には今度は西組に馴染んだ顔になってきたと言ってもらえるよう、まずは新生活のスタートを楽しみにしたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。